

2025年ISO年次会合報告

—第 47 回ISO総会報告

—第 59 回 DEVCO総会報告

令和7年10月29日

経済産業省 イノベーション・環境局 国際標準課

若原 明日香

本資料に掲載している写真は
ISO・HP引用もしくはJISC職員撮影

目次

1. 2025年ISO年次会合 結果概要
2. 第47回 ISO総会報告
3. 第59回 DEVCO（発展途上国対策委員会）総会報告
4. 関係国とのバイ会合報告

2025年ISO年次会合 結果概要 (1/2)

- 日程：2025年10月6日（月）～10日（金）
- 場所：ルワンダ共和国・キガリ 
- アフリカでの年次会合開催は 南アフリカ共和国以来 2 回目
- “United for impact”がテーマ
- 10月6日（月）のオープニングセレモニーでは、**ンセンギユンバ・ルワンダ首相**を始め、**アンサーリ・イラン副大統領**、**ンバディ・ウガンダ貿易・産業・協同組合大臣**等の加盟国政府要人も参加。総会を通じて、各種セミナーには大臣級が参加。
- 日本からは、**JISC(日本産業標準調査会)**を代表して朝日JSA理事**長を始めとする計7名（METI3名、JSA4名）**が参加。



2025年ISO年次会合 結果概要 (2/2)

- ①総会、②理事会、③TMB（技術管理評議会）、④DEVCO（発展途上国対策委員会）等の各会合が開催されたほか、ISO 規格開発・普及推進のためのデジタル活用プロジェクト、ISOのビジネスモデル見直し、国際標準の普及啓発、女性の活躍といったテーマに関する**複数のワークショップ**等が開催。
- 今次会合での主な話題は、**AI の進展を踏まえた ISO の規格開発と規格のデジタル化等ISO のビジネスモデルの見直し、加盟国間連携や地域連携の推進、人材育成、外部機関との連携等**であり、総会の際でも加盟国から ISO 経営陣に対し多数の質問が投げかけられた。



第47回 ISO総会報告

第47回ISO総会（10月9日） 主要議題

1. ISO事務総長の報告
2. L.D.アイカー賞の授与
3. ISOビジネスモデルレビュー
4. 国際AI標準サミットを含む、IEC、ITU 連携との協力
5. アフリカ標準化機関（ARSO）とのキガリ協定締結
6. ISO副会長、理事会メンバー選挙



1. 事務総長の報告（1/2）

- ・ **ISO戦略2030：戦略の進化と実行**

ISOは、ISO戦略2030の成功を測定するため、ROI分析手法を確立し、新たな成功定義を策定した。

- ・ **新技術への対応**

IECと共同でSMARTプログラムの新たなガバナンス体制を構築し、生成AIを活用した「ISOコンパニオン」のコンセプトを承認した。

- ・ **組織ガバナンスの強化**

ISOリスク管理方針の見直しや知的財産権保護の強化を進めている。

- ・ **外部連携**

ESG（環境・社会・ガバナンス）戦略に取り組むためタスクフォースを設置し、LLMプロバイダーなどとの協力モデルを探る。

1. 事務総長の報告（2/2）

➤ 連携してインパクトを“United for impact”

① 国際協力の進捗と目的：

国際機関、国連機関、NGO等とのパートナーシップはISOの認知度、影響力、信頼性を高める。WTO、ITU、国連開発計画（UNDP）等との協力を強化し、気候変動やAI、持続可能性等に関する取り組みを推進。

② 国際連携による規格の整合性：

技術的・戦略的なパートナーシップにより、規格の整合性、相互運用性を高めている。

③ 今後の計画：

- ・ パートナーシップを追跡・評価するシステムの導入
- ・ AI、バイオテクノロジー等の新興分野でのパートナーシップの拡大

2. L.D.アイカー賞の授与

- ローレンス.D.アイカー賞：多大な貢献をし、卓越性を示した委員会を表彰

ISO/TC 323循環型経済（幹事国：フランス）に授与

- TC 323は、より持続可能で資源を効率的に活用する経済への世界的な移行を支えるための規格づくりにおいて、先駆的な取り組みが評価された。



3. ISO ビジネスモデルレビュー

- **デジタル化の急激な進展**により、ISO/IECにおいても**規格及び規格開発のデジタル化（紙・PDFから、データベースへ）、技術的な議論、販売方法の議論、著作権の議論**などの検討が同時並行的に開始された。
- その議論の中で、資金調達のみならず**ISO全体のビジネスモデルの見直しが提案**され、ワークショップなどを実施。どのような実行計画が可能か、などを中心に**ISOビジネスモデルタスクフォース**で議論が始まった。
- 見直しは、**上流（規格開発）、中流（規格販売）、下流（規格利用）、更にSMART規格（※）、短期的な中央事務局の収入増（分担金増、国家規格採用に対する課金など）、長期の中央事務局の立ち位置や財政モデル**に分類し、検討。

（※） SMART=Standards Machine Applicable, Readable and Transferable。人間のみならず機械による読取りや利用が可能な規格の開発による規格の市場拡大を目指して、ISOとIECが連携して開発に取り組んでおり、現在は特定の規格をマシンリーダブルなXML形式とするパイロットプロジェクトを実施中。

4. 国際AI標準サミットを含むIEC、ITU との協力

- ・ ISO、IEC、ITUの3機関の協力組織である世界標準協力（WSC）の昨年の報告及びその下部組織である標準化プログラム調整グループ（SPCG）の紹介。また IEC、ITU からそれぞれの協力案件の報告。
- ・ ISO 会長が提案する**国際AI標準サミット2025が12月2～3日に韓国・ソウルにて対面で、ビジネスリーダー等**を招待して開催予定。このサミットは、AIガバナンスにおける国際標準の役割を高め、ビジネス、政府、国際機関、政策コミュニティとの有意義な関わりを促進するための主要な取り組みとして位置づけられている。

5. アフリカ標準化機関（ARSO）とのキガリ協定締結

- ISOとアフリカ標準化機関（ARSO）は、アフリカで国際標準の採用と影響を加速するため、技術協力を強化するキガリ協定を締結。
- ISOとARSOは長年のパートナーシップ関係があり、2023年に覚書が更新されている。



6. ISO副会長・理事会メンバー選挙

選挙／投票結果

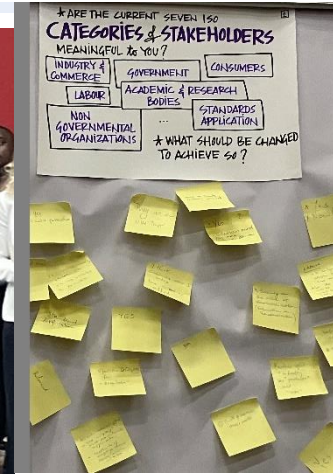
- ・ 副会長（政策担当）：カナダ（任期2026-2027年）※無投票
- ・ 副会長（技術管理担当）：イタリア（任期2027-2028年）※無投票
- ・ 理事会メンバー（任期2026-2028年）
 - Group2：ブラジル、スウェーデン
 - Group3：コロンビア
 - Group4：ウガンダ

※ISOのグループは、各国のランクを、分担金（年会費）、TC等の国際幹事引受数及びPメンバー参加数に基づいて4グループに分類。日本はGroup1（常任国）。



サイドイベント

➤ ワークショップ



➤ パネルディスカッション



➤ 地域会合



第59回 DEVCO（発展途上国対策委員会）

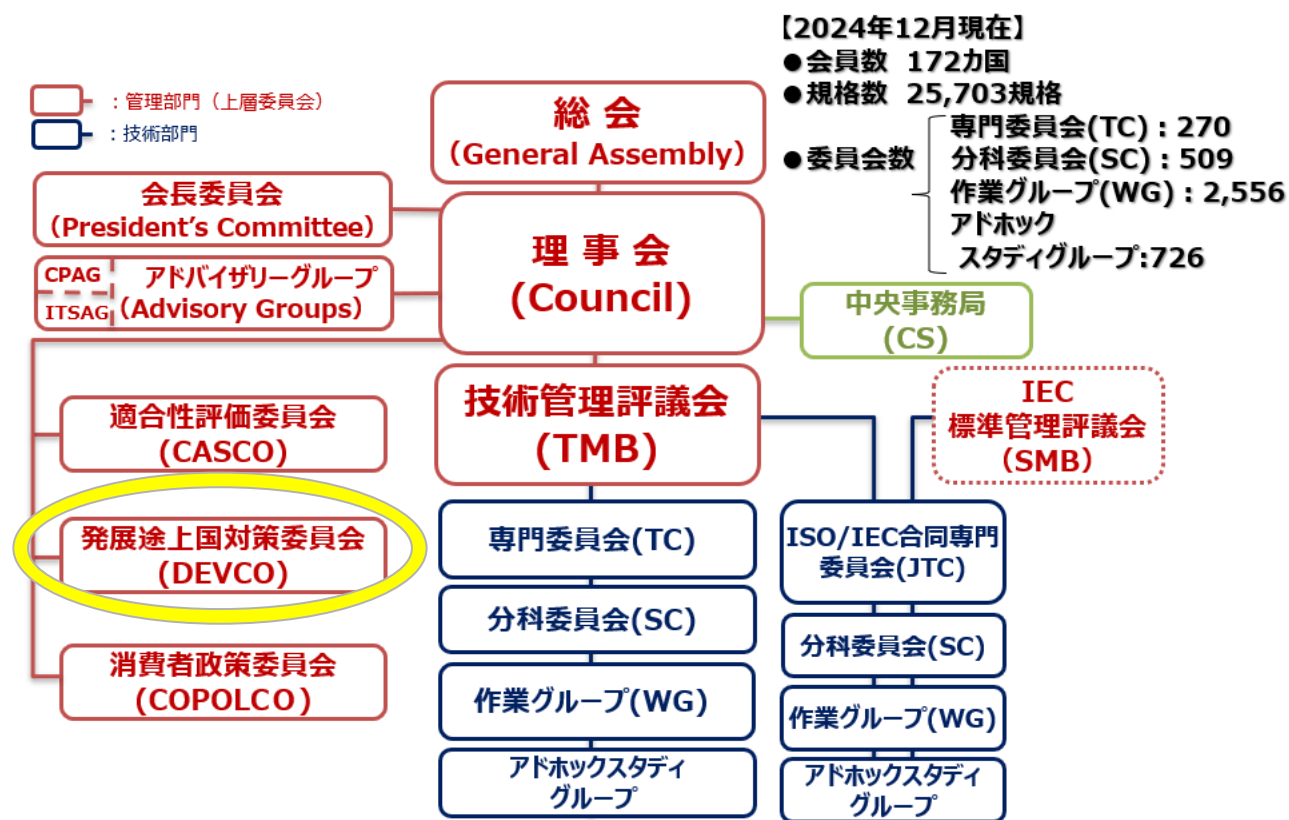
総会報告

DEVCOとは

ISOの上層委員会のひとつである発展途上国対策委員会 (Committee on Developing Country Matters) のこと

■ 委任事項

- ・発展途上国の支援と能力向上
- ・途上国間だけではなく、途上国と先進国間での情報、経験、ベストプラクティスの共有
- ・途上国のためのアクションプランの理事会承認を促進
- ・ISOガバナンスと政策決定に関する途上国会員に影響を及ぼす事項について、理事会に助言及び途上国へガイダンス



【出所 : JISC HP】

第59回DEVCO総会 開催概要

- 日程：10月6日（月）
- 主要議題：
 - ・ APDC: Action Plan for Developing Countries 2021-2025の進捗
 - ・ APDC 2026-2030案の議論
 - ・ MSMEs（中小企業）に関する新たな作業部会の設置
 - ・ SMARTの最新情報の共有



DEVCO APDCワークショップ

- 次期(2026-2030)APDCを開発するため策定に向けて、DEVCOメンバーでワークショップを開催。
- 3テーブルに分けて、優先的事項、関心分野、課題を議論。

テーブル1：メンバーの組織的能力

①GSP(Good Standardization Practices)、②テクノロジー、③ジェンダー

テーブル2：発展途上国メンバーのISOシステムへの貢献

①ISO専門業務及びガバナンスへの参加、②ISO規格開発プロセス、ツール、役割、③リーダーシップ能力とISOガバナンス

テーブル3：ISO規格の使用及び国家採用

①国家採用の利点、②特定の規格の利用と普及、③公共政策における規格の役割



2025年 ISO年次会合報告

ーバイ会合報告ー

バイ会合

- 星（ESG/SSC） 、独（DIN） 、印（BIS）、デンマーク（DS）、豪（SA） とのバイ会合を実施

<概要>

①星（Enterprise Singapore）

- ISOビジネスモデル：双方の規格販売方法、規格に関するサービスに係る現状の情報交換
- 標準化関心分野：（星）AIに関心



②独（DIN）

- DPP（Digital Product Passport）：DINより新規提案のISO/IEC/JTCへの支援依頼
- OSD/SMART：双方の取り組みの紹介
- ISOビジネスモデル：双方の規格販売方法、規格に関するサービスに係る現状の情報交換



バイ会合

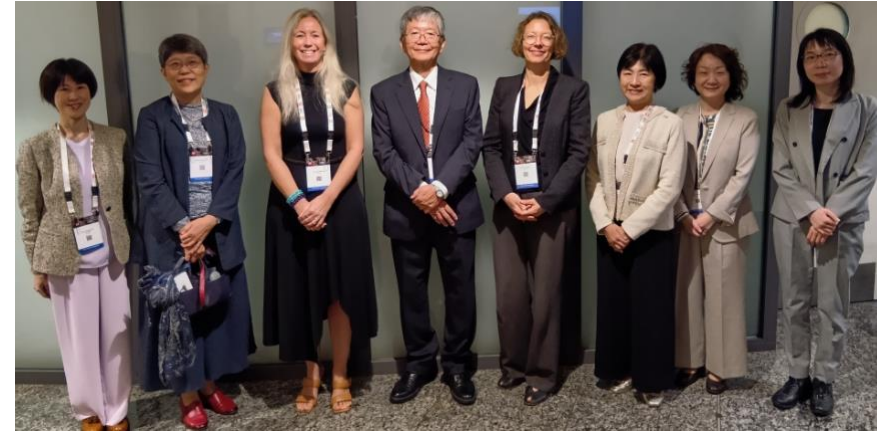
③印 (BIS)

- ISOビジネスモデル：双方の規格販売方法、規格に関するサービスに関する現状の情報交換
- 日本からの提案規格に係る協力依頼
- 研修依頼：BISより、若手職員の日本における研修依頼



④デンマーク (DS)

- ISOビジネスモデル：双方の規格販売方法、規格に関するサービスに関する現状の情報交換



③豪 (SA)

- ISOビジネスモデル：双方の規格販売方法、規格に関するサービスに関する現状の情報交換
- ISOに対しSAが目指すビジョンの紹介



ご清聴ありがとうございました

経済産業省国際標準課

経済産業省～「標準化・認証」の紹介ページ

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/index.html>

日本産業標準調査会ホームページ

<https://www.jisc.go.jp/>